

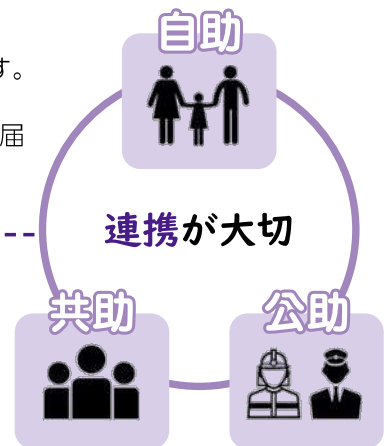
災害時に町民のみなさんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

12月の第1日曜日は「地域防災の日」です。地域防災訓練は1983年に始まり、今年でちょうど40年目の節目となります。地域防災訓練に参加し、地域のみんなで支え合う「共助」の充実・強化につなげましょう。

▲地域防災訓練に参加しましょう

「自助」「共助」「公助」で備える

- ✓「自助（一人一人の役割）」自分自身や家族で備えること
 - ✓「共助（地域の役割）」地域で助け合うこと
 - ✓「公助（行政の役割）」役場、消防、警察、自衛隊などの活動のこと
- 防災の基本は、一人一人が防災意識を高め「自助」の力を高めることです。しかし、災害時には自分だけでは対応できないこともあります。その時、頼りになるのが「共助」です。「公助」の手を円滑に被災者へ届けるためにも「自助」と「共助」との連携は欠かせません。

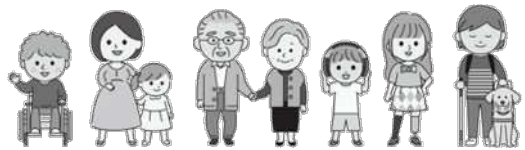


【防災講座】地域防災訓練に向け、防災講座を開催します！

- 11月3日（金・祝）13：30～15：30 場所：川根本町文化会館
・防災のスペシャリストに学ぶ減災
・講師：静岡大学防災総合センター特任教授 岩田孝仁 氏
- 11月17日（金）14：40～15：40 ※町内中学生対象
・講師：一般社団法人 OPENJAPAN 緊急支援プロジェクト 萬代好伸 氏
- 11月30日（木）19：00～21：00 場所：川根本町文化会館
・台風第15号災害を振り返って
・講師：壺町河内区 杉山嘉英 氏

▲要配慮者支援について

災害時、被害を受けやすいのは高齢者や子ども、障がい者、傷病者、外国人など、周囲からなんらかの手助けが必要になる人です。



- ✓できるだけ要配慮者ご本人も、家族などの支援者と一緒に防災訓練に参加しましょう。災害時に必要な支援がより明確になり、解決すべき課題も見えてきます。

▲女性の参画の重要性

災害時、男性だけでは女性が必要とする配慮事項やニーズに気づかないことがあります。

東日本大震災の避難所生活で、実際に女性が困ったこと…

- ・女性用下着や生理用品の配布を男性がしており、受け取りにくい
 - ・間仕切りがないところでの着替えや授乳
 - ・洗濯をした下着を干す場所がない
- ✓自主防災組織に女性が参画して意見を出していくことで、視点が広がり、地区の防災力向上に繋がっていきます。
 - ✓自主防災委員等は、性別や年齢等に偏りがありますか？地域には、様々な人が生活しています。意見が出し合える体制を作りましょう。



次回は「わたしの避難計画について」を掲載予定

【問】総務課・自治防災室 ☎0547(56)2220

内装&外装 塗装工事一式
なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

川根本町徳山936

TEL・FAX 0547-57-2840

二代目代表 中村 剛子(なかむら たかね)

ご相談やお見積もりは無料です。お気軽にお声掛けください。